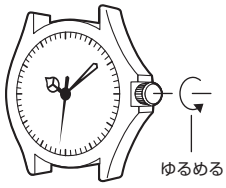
Operation Guide ANALOG(SO)

CASIO

時刻・カレンダーの合わせ方

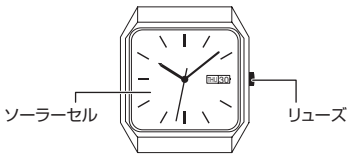
※機種により形状は異なります。

防水時計の一部（特に10気圧・20気圧防水）でリューズがネジ込み式になっているものは時刻・カレンダーを合わせる際は左回しにしてネジ込みをゆるめた後、リューズを引いてください（無理に引っ張らないでください）。
なお、リューズをゆるめた状態では防水機能を保てませんので、合わせ終わったら必ずネジ込みをしてください。



●時刻の合わせ方

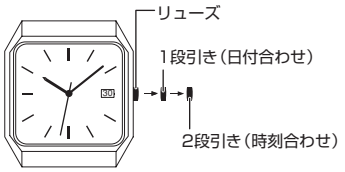
(1)秒針が12時の位置にきたら、リューズを引いて運針を止めます。
(2)リューズを回して時刻を合わせます。
(3)時報に合わせて、リューズを押し込みます。



※ 時刻を合わせるときは、針を正転方向（進む方向）に回して合わせてゆき、分針を正しい時刻より4～5分進めてから逆に戻して合わせると正確に合わせることができます。
※ 時報は「時報サービス117番」が便利です。

★日付のついているものは

➠ 日付と時刻を別々に合わせます。



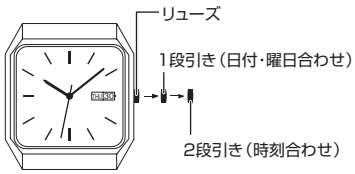
＜日付の合わせ方＞
(1)リューズを１段引きます。
(2)リューズを回して、日付を合わせます。
(3)リューズを押し込みます。

※ 日付は31日制になっていますので、2、4、6、9、11月の月末には必ず修正してください。
※ 午後9時～午前1時の間は、日付合わせを行なわないでください（この間は日付が変わらないことがあります）。
※ 日付は午前0時頃に切り替わります。

＜時刻の合わせ方＞
(1) リューズを2段引きます。
(2) 上記「●時刻の合わせ方」の(2)～(3)の手順で時刻を合わせます。

★日付・曜日のついているものは

➠ 日付・曜日と時刻を別々に合わせます。



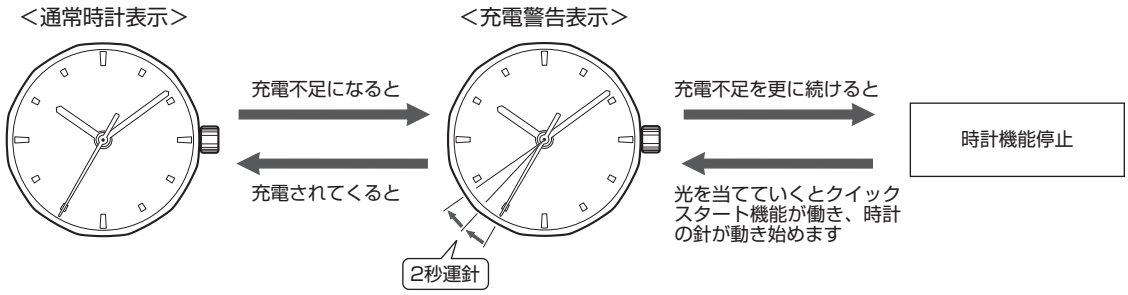
＜日付・曜日の合わせ方＞
(1)リューズを1段引きます。
(2)リューズを回して、日付・曜日を合わせます。
(3)リューズを押し込みます。

※ 日付合わせのときと逆方向にリューズを回すと曜日が進みます。
※ 日付は31日制になっていますので、2、4、6、9、11月の月末には必ず修正してください。
※ 午後9時～午前4時の間は、日付合わせを行なわないでください（この間は日付が変わらないことがあります）。
※ 日付は午前0時頃に切り替わります。曜日は、日付が切り替わった後、午前4時30分頃までに切り替わります。

＜時刻の合わせ方＞
(1) リューズを2段引きます。
(2) 上記「●時刻の合わせ方」の(2)～(3)の手順で時刻を合わせます。

各機能について

本機は、充電不足になると以下のような警告機能が働いて充電不足をお知らせします。
充電切れで時計が停止しても光を当てていくと針が動き始めます。



●充電警告機能

秒針が２秒運針して、充電不足をお知らせします。
このときも時計は正常に動いていますが、２秒運針を始めてから約４日経過すると、時計は停止してしまいます。光を当てて充電し、もとの１秒運針に戻してください。

●クイックスタート機能

充電が全くされていないと時計は停止してしまいますが、光を当てると、約10秒で時計の針が動き始めます。

※ ただし、このときに光をさえぎると、充電が十分でないため、時計は再び停止してしまいますのでご注意ください。
※ モデルや光の明るさにより、針が動き出すまでの時間は異なります。

電源について（充電のしかた）

本機はソーラーセルで発電し、二次電池に充電しながら使うようになっております。
光が当たりにくい場所での保管および使用、長袖で本機が隠れたままの使用が長時間続きますと、二次電池が消耗して充電不足になることがあります。
安定してご使用いただくために、なるべく光に当たるようにしてお使いください。

●充電時のご注意

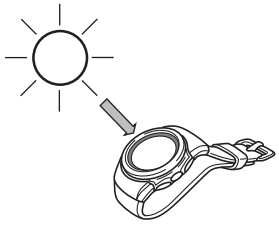
以下のような高温下での充電はお避けください。
- 炎天下に駐車中の車のダッシュボードの上
- 白熱ランプなどの発熱体に極端に近い所
- 直射日光が長く当たって、高温になる所

⚠ 充電の際、光源の条件によっては時計本体が極端に高温になることがありますので、やけどなどをしないようにご注意ください。

●充電のしかた

本機のソーラーセル部を光源に向けます。
※ ソーラーセルの一部が隠れていると充電効率が下がりますのでご注意ください。

例）時計の置き方



●過充電防止機能について

二次電池がフル充電されると、それ以上は充電されないように過充電防止機能が働きます。
過充電の心配はありませんので安心して充電することができます。

●充電の目安

本機は一度フル充電すると、充電しなくても約6ヶ月動き続けます。
なお、こまめに充電を行なえば、安定してご使用いただけます。

＜1日動くのに必要な充電時間＞

環境（照度）	充電時間
晴れた日の屋外など（50,000ルクス）	約3分
晴れた日の窓際など（10,000ルクス）	約12分
曇りの日の窓際など（5,000ルクス）	約25分
蛍光灯下の室内など（500ルクス）	約4時間

＜各レベルに回復するための充電時間＞
この充電時間は目安のため、実際の環境下においては充電時間が異なる場合があります。

環境（照度）	充電時間	
	通常運針までの充電時間	フル充電時間
晴れた日の屋外など（50,000ルクス）	約30分	約14時間
晴れた日の窓際など（10,000ルクス）	約3時間	約40時間
曇りの日の窓際など（5,000ルクス）	約5時間	約80時間
蛍光灯下の室内など（500ルクス）	約60時間	－－－

※ 充電時間は連続照射時間です。
※ フル充電時間は時計が停止している状態から最大に充電されるまでの時間です。
※ 時計のモデル（文字板の色など）によっては充電時間が異なる場合があります。